桜台小学校だより　　平成３１年１月２３日

ひょうたん池　　第３９号

正門を入って左側に何本かの木が植えられています。その中に、赤い花を咲かせている木があります。「山茶花（サザンカ）」です。花のない寒い冬に咲く花、冷たい冬を告げる花ということで、冬の季語にもなっています。よく似た花に「椿」があります。咲く時期もよく似ていて、見分けがつきにくい花と言われています。花の散り方で見分けられるようです。

エンジョイ！大なわ

第 38 号でお知らせしましたとおり、中休みを使った「エンジョイ！大なわ」が始まり、全校で大なわとびに挑戦しています。

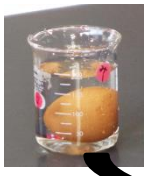
全校の児童が、一斉に運動場に飛び出し、この日はきょうだい学年で「エンジョイ！大なわ」です。まずは、上の学年が「８の字跳び」のお手本を見せました。見ている下学年の子どもたちは、その軽やかな様子に目を見張っていました。

続いて、きょうだい学年で一緒に跳びました。その中で、私の目は１・６年のところに止まりました。６年生が１年生の後ろに立ち、肩に手を置いてなわに入るタイミングを計ってそっと押してあげていました。そのおかげで、１年生は上手にくぐり抜けました。また、１年生と手をつないで一緒に大なわに入っていく６年生もいました。なわを回す速さを変えてあげている光景も見られました。嬉しそうな１年生の顔を「よしよし」といった温かい視線で見つめる６年生の姿がすてきでした。

下学年のことを思いやる気持ち、上級生のことを信頼する気持ち、「大丈夫だよ」「一緒に跳ぶよ」「ほらっ跳べた！」「やった！」「ありがとう」どんな言葉が交わされていくのでしょうね。

桜中学校の先生が来てくれました

今年度は３回目になります。桜中学校の先生が、「桜中学校区学びの一体化」の取り組みの一環で、本校の児童に授業をしに来てくれます。１月 17 日（木）は、桜中学校の理科の先生が「浮く？沈む？サイエンス（科学）」と銘打って、理科の授業をしてくれました。



Q：どうすれば、水に沈んでいる卵を浮かび上がらせることができるか

用意されていたのは、砂糖でした。各グループで、どんどんビーカーの水に砂糖を溶かしていきました。ひたすらガラス棒を回して、回して・・・・・

「うっ、浮かんだ！！」一つの班から声が上がると、あとは次々声が上がってきました。

浮くか沈むかは密度が関係しています。水の密度と卵の密度では卵の方が上回っているから、卵が沈みます。水に砂糖を溶かしていくと、水の密度が上がっていきます。それで、卵が浮き上がることになります。そんな話を中学校の先生がしてくださいました。小学校より少し専門的な話に触れた６年生。４月からの中学校の学習を垣間見て、どうでしたか？楽しみになりましたか？

お気づきでしたか？ １月に入ってからのことです。園芸ボランティアの方々が、引き続き、正門横さつきの植え込みの剪定や除草をしてくださいました。それに続いて、朽ち果てていた木々の名札に気づいて、何回か来校し、裁断・塗装・書字作業の末きれいな名札を作って、付け替えてくださいました。子どもたちは大喜びです。ありがとうございました。　　（文責　矢田）